

(11) 稚魚餌用マイクロカプセル

1. 開発の背景(従来の技術を含む)

サン・ニュートリション㈱の浜田社長は稚魚の生育に重要な栄養源となる天然物質を(見出し、それを) DHA や EPA とともにマイクロカプセルに内包させることで、理想的な稚魚餌用が得られると考え、平成22年4月、その調製を(株)MCラボに依頼したことで、本研究開発が開始されました。当該マイクロカプセル調製はほぼ終了しておりますが、フィールド試験がサン・ニュートリション㈱側の事情で中止になっており、実用化までには至っていない状態にあります。

2. MC の特徴(技術開発目標も)と市場性

10乃至20ミクロン位の当該マイクロカプセルは、ほんの数ミリにも満たない稚魚の餌であるワムシ(200ミクロン位)に取り込ませて、最終的に稚魚に食べさせようというものです。当然、マイクロカプセル中には稚魚が育つために必須のDHA、EPAを含んでおりますが、この場合、さらに有用で、画期的な栄養素となる天然物質を含有させるものでして、この点に新規性があると思われます。この分野の市場は大きいようですが、今のところ上述のようにフィールド試験が中断した状態にあります。

3. 製品完成度・問題点

上述のように500mlスケールでの製品としては一応完成している状況である。フィールド試験が本格的に実施されていない。

4. ビジネスとしての展開・展望

浜田氏と協力でき、フィールド試験を進める資金的助力等の体制が整えば、展開の可能性があると思います。現在、この分野に興味を持つ企業関係者からの連絡待ち状態にあります。

5. 製法・関連特許

製法は特許に記載されております。

特開平10-327770 “飼料用マイクロカプセル” 幡手泰雄他

これは鹿児島TLOを出願人として特許査定されている。

公報番号	発明の名称	出願人(登録公報・US和抄は権利者を表示)
特許 4189860	飼料用マイクロカプセル	株式会社 鹿児島TLO